
天宮町の倉樹一家の家族けーかく無計画

凸凹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天宮町の倉樹一家の家族けーかく無計画

【Nコード】

N9658Z

【作者名】

凸凹

【あらすじ】

倉樹一家のカフェ店の妹9人＋兄が、今後の計画を作ったり作らなかつたりしながら、天宮町で奇想天外を巻き起こすハートフルコメディ

第1計画 倉樹一家のプロローグ(前書き)

はじめまして凸凹という者です。これが、処女作なので駄作になりますが、よろしくお願いします。

第1計画 倉樹一家のプロローグ

俺は十二歳の頃、乾パンを持たされて、あまみやぢょう天宮町に棄てられた。

正直悲しかった。

そしてつらかった。

すると、そんな俺を拾ってくれた男女の大人二人が居た。

それから俺は、くわ倉樹家の一員となった。

しかも聞けばその二人は俺の他に、あと7人の子供達を育てているではないか。

そいつらは、全員年下の妹達らしく、俺が倉樹家の長男となった。

そして今では、十年の時間が経った。つまり俺は二十二歳。妹達もしっかりと成長し、個性が出始めた。

高一の十六歳の葵。

中二の13歳で三つ子の桜、すみれ菫、りん林。
同じく小四の三つ子の、椿、楓、華。

そんな7人の妹をもつ俺の名前は、れい零。

彼女はいません。いたってそこら辺のお兄さんです。

そんなわけで俺はいつものように、妹達の一騒動に我が家が経営する倉樹カフェ店が巻き込まれていくわけです。

ま、楽しいから良いんだけどね。

え？ 別にMってわけじゃないからね。

とりあえず、『倉樹カフェ店の家族けーかく無計画』始まります。

妹達「見てね」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9658z/>

天宮町の倉樹一家の家族けーかく無計画

2011年12月30日01時47分発行